

第二の敗北を 抱かぬために

今年2月、突然勃発したウクライナ戦争によるエネルギー危機がGX競争の最前線を直撃し、“Race to Net-Zero”も乱れがちだ。

ここで留意すべきは、その対応次第では、5年後、10年後におけるGX競争の勝敗が決定付けられることだ。

危機を「奇禍」として、手綱を緩める口実にするのか、それとも、二枚腰で一層の前進をするための「奇貨」とするのか。

海外との比較をしながら、日本の危うさを考えてみたい。



講師

末吉 竹二郎氏

国連環境計画・
金融イニシアチブ(UNEP FI)
特別顧問

東京大学経済学部卒。東京三菱銀行信託会社（NY）頭取や日興アセットマネジメント副社長を務めた。2003年国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEPFI）特別顧問、2011年公益財団法人自然エネルギー財団の副理事長に就任。2018年9月にはWWFジャパン会長に就任。長年の金融界での経験をバックに「金融と環境」をテーマに、金融のあり方やCSR経営などについて、講演、講義、著書などで啓もうに努める。

2022年10月7日(金)

16:20-17:50

オンライン開催(無料)
参加登録はこちら▶



主催：東北大学大学院国際文化研究科

共催：東北大学グリーン未来創造機構

後援：MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

MS&ADインターリスク総研株式会社

本講演会はMS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社からの寄付を受けて国際文化研究科国際政治経済論講座 (IPE: International Politics and Economics)が実施しております。

お問合せ: ipe.gsics@gmail.com